

## 平成 21 年度当初予算 施策別概要

### 5 5 1 道路網の整備

( 主担当部：県土整備部 )

- 55101 高規格道路ネットワークの形成 ( 県土整備部 )
- 55102 道路ネットワークの形成 ( 県土整備部 )
- 55103 適切な道路資本の維持管理 ( 県土整備部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 道路利用者が

( 意図 ) 安全かつ快適に道路を利用することができ、県内外との交流・連携を広げている

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
幹線道路網の整備率	目標値	-	53.7%	57.8%	58.3%	59.5%
	実績値	50.7%	54.3%	57.6%		

#### 県内主要道路の事業計画延長に対する供用道路延長の割合

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県管理道路改良率	目標値	-	70.9% (H18)	71.5% (H19)	71.8% (H20)	72.0% (H21)
	実績値	70.7% (H17)	71.2% (H18)	71.7% (H19)		
舗装の維持管理指数	目標値	-	5.0 以上	5.0 以上	5.0 以上	5.0 以上
	実績値	5.5	5.3			

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 本県の道路整備は十分とは言えず、計画的に道路整備を推進する必要があります。平成 21 年度からの道路特定財源の一般財源化が閣議決定されるなど、道路財源は不透明な状況にありますが、真に必要な道路整備を推進するためには道路財源の確保が必要です。
- ・ 企業活動が盛んな北・中部地域では慢性的な交通渋滞、南部地域では大雨等によるたび重なる通行止めが発生しています。これらを解消するために県内幹線道路網の整備に取り組んでいます。
- ・ 平成 25 年の神宮式年遷宮に向けて県内外から多くの来訪者が予想されることから、各方面から伊勢への、または伊勢から世界遺産 ( 熊野古道 ) を有する東紀州地域へのアクセスルートの整備に取り組んでいます。
- ・ 地域の独自性を引き出し、他地域の文化との交流連携を広げるため、地域住民の参加による道路施策を進めています。
- ・ 市町村合併後の地域の自立支援および大規模災害時の対応のため、高規格幹線道路や直轄国道等の広域幹線道路と一体となった道路ネットワークの整備に取り組んでおり、既存ストックの有効利用と合わせ重点的・効率的な道路整備を進めています。

#### < 平成 21 年度 の取組方向 >

新名神高速道路、紀勢自動車道、東海環状自動車道、熊野尾鷲道路、北勢バイパス、中勢バイパスの整備促進および第二伊勢道路の整備推進や、これらの根幹をなす道路にアクセスする県管理道路の整備推進に取り組みます。

地元活動団体等と行政が連携し、道路や周辺の地域資源等を生かした美しい道づくりや地域づくりを進めます。

地域の自立支援や大規模災害に備えるため、高規格幹線道路や直轄国道等の広域幹線道路の整備促進および県管理道路の整備推進をはかり、合併後の地域の活性化を支援する道路や緊急輸送道路の整備に取り組みます。

日常生活の利便性・安全性向上を図る道路の整備に取り組むとともに、橋梁の点検及び修繕を計画的に進め、舗装に関するデータベースの充実をはかり、より一層経済的で効果的な維持補修を行います。また、道路愛護意識の高揚をはかるため、地域住民で構成された団体が行う道路の草刈り、清掃活動等を支援します。

#### <主な事業>

(重) 直轄道路事業負担金(高規格道路)【基本事業名: 55101 高規格道路ネットワークの形成】

(第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費)

予算額: (20) 7,050,000千円 (21) 6,200,000千円

(6,620,800千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要: 国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の高速道路網の形成を促進し、県民生活の利便性、安全性の向上をはかります。

(一部重) 国補道路改築事業(高規格道路)【基本事業名: 55102 道路ネットワークの形成】

(第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費)

予算額: (20) 2,200,000千円 (21) 2,300,000千円

(2,400,000千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要: 高速道路と一体となった高速交通網の整備推進をはかり、県内外との交流・連携の促進に寄与する道路ネットワークの形成を目指します。

(重) アクセス道路景観整備事業【基本事業名: 55103 適切な道路資本の維持管理】

(第8款 土木費 第1項 土木管理費 1 土木総務費)

予算額: (20) 40,000千円 (21) 40,000千円

事業概要: 伊勢自動車道伊勢西インターチェンジから神宮(外宮・内宮)にアクセスする県道伊勢磯部線において、歩道舗装や防護柵等の修景化を実施します。

(一部重)(一部舞) 道路改築事業【基本事業名: 55102 道路ネットワークの形成】

(第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費)

予算額: (20) 16,964,975千円 (21) 14,914,250千円

(15,714,250千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要: 県民生活の利便性、安全性の向上に寄与する道路ネットワークの形成を目指し、緊急輸送道路の整備や地域生活を支援する道路整備などを推進します。

(一部重) 公共土木施設維持管理費(道路維持修繕費)

【基本事業名: 55103 適切な道路資本の維持管理】

(第8款 土木費 第1項 土木管理費 1 土木総務費)

予算額: (20) 6,094,532千円 (21) 6,123,551千円

(6,402,551千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要: 道路施設の補修、補強を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上をはかり、適切な維持管理を行います。